

# ホットな地域の話題 -新規就農者編-

研修施設

施設名  
あったかファーム



## 施設の概要

- ❖ 地域 鷹栖町
- ❖ 設立年次 平成30年
- ❖ 品目 きゅうり
- ❖ 就農人数 17名

## 施設設立の経緯

あったかファーム(正式名称:鷹栖町農業交流センター)は、平成30年4月に鷹栖町が農業の未来を担う人材を育成・確保することを目的に設立した。鷹栖町は道内に2か所しかない「きゅうりの指定産地\*」であり、集約的かつ高収入を見込める「きゅうり」に特化した新規就農者の育成をしていて、**これまでに22名が当施設で研修を受け、17名が町内で独立就農している(5名は現在研修中)**。また、**新規就農者育成のほか、ICT技術の試験導入、食育・農育の推進拠点としての役割も担っている**。

\*野菜生産出荷安定法に定める作付面積及び共販率を満たす産地について、農林水産大臣が指定する。

## 取組内容や関係機関との連携

3年間の研修期間で、1年目はあったかファーム所有の圃場で栽培の基礎を学び、2年目は地域の農業者の下で技術を学ぶ。3年目は実践形式の研修を行い、翌年の春に独立というカリキュラムとなっている。

食育・農育の取組としては、町内の小学生を対象に田植から収穫、脱穀、調理実習までの体験学習や、学校給食への食材提供を行っている。

このほか、旭川工業高等専門学校と包括連携協定を結び、「日射比例制御機」(日射比例制御技術を用いたかん水の最適化)等を作製した。また、学生のインターン等も受け入れており、交流人口の増加にも寄与している。

## 今後の展望

10a当たり25tの収量(令和6年北海道の平均収量は12.7t)を目標にした栽培マニュアルを完成させ、地域に普及、全体の底上げを図る。

今後毎年2~3名の研修生を受け入れ、町内農業者の確保・増加を目指す。

令和8年5月作成